

不動産業業況等調査（2024年4月）^{*1}

● 現在の経営状況^{*2}

前回からの変化		
住宅・宅地分譲業	21.9 p	16.5 p ↑
不動産流通業(住宅地)	0.0 p	13.8 p ↑
ビル賃貸業	15.0 p	0.0 p →

● 3ヶ月後経営状況見通し^{*3}

前回からの変化		
住宅・宅地分譲業	△ 1.6 p	△ 1.6 p ↓
不動産流通業(住宅地)	△ 10.9 p	1.1 p ↑
ビル賃貸業	0.0 p	0.0 p →

住宅・宅地分譲業の経営状況は前回から 16.5p 改善し 21.9p。13期連続のプラス水準。

不動産流通業は前回から 13.8p 改善し 0.0p。4期ぶりのプラス水準。

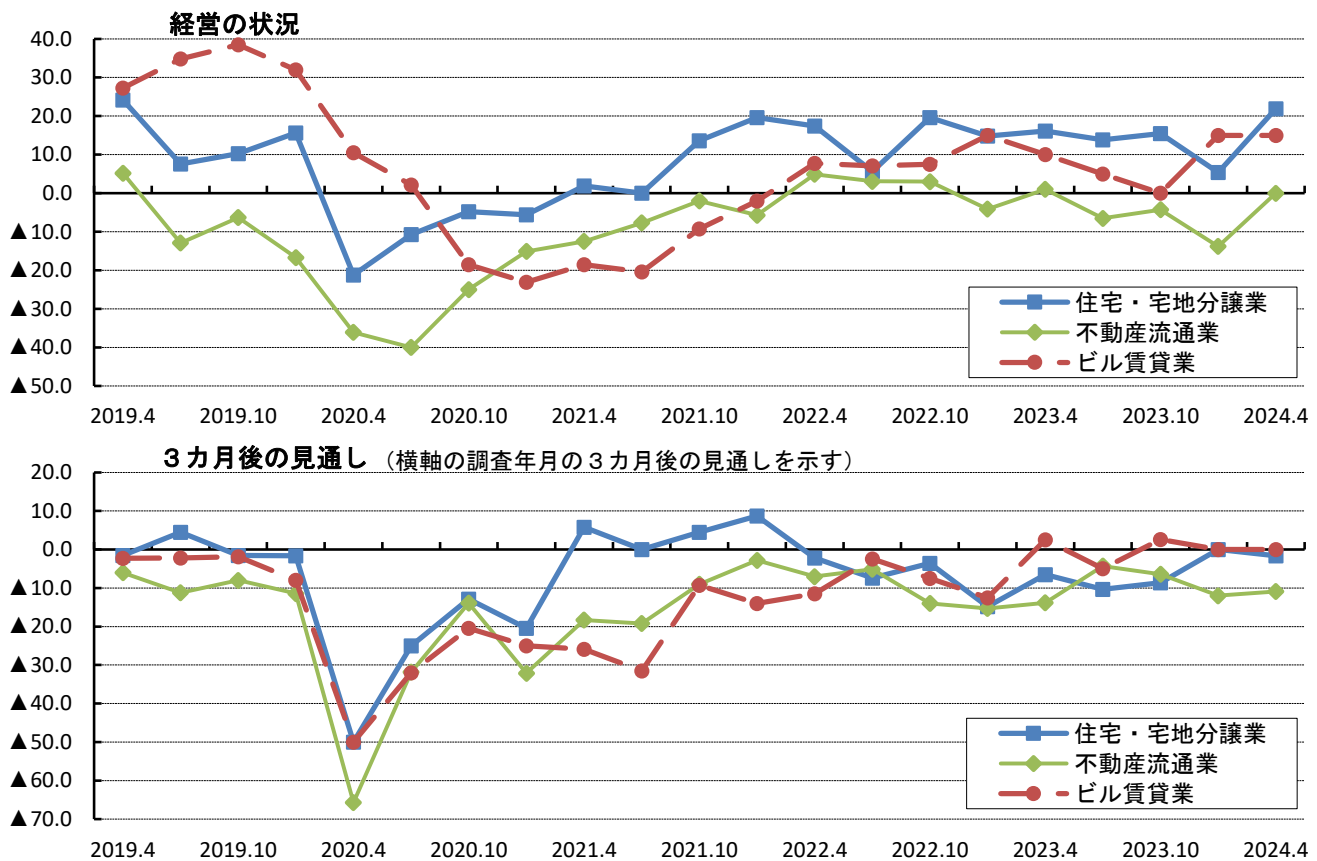
ビル賃貸業は前回から横ばいの 15.0p。9期連続のプラス水準。

3ヶ月後の見通しは、不動産流通業、ビル賃貸業で改善、住宅・宅地分譲業で悪化。

^{*1} 不動産業を営む企業を対象としたアンケート調査をもとに、不動産業業況指数を算定（-100～+100、0が判断の分かれ目）。調査時期は毎年1、4、7、10月。

^{*2} 経営の状況＝{（「良い」×2＋「やや良い」）－（「悪い」×2＋「やや悪い」）}÷2÷回答数×100

^{*3} 3ヶ月後の見通し＝{（「良くなる」×2＋「やや良くなる」）－（「悪くなる」×2＋「やや悪くなる」）}÷2÷回答数×100（調査年月の3カ月後の見通しを示す。）



[不動産業業況等調査結果（pdf）ダウンロード](#)

資料：一般財団法人 土地総合研究所「不動産業業況等調査」

土地総研メールマガジン 第138号「不動産業業況等調査」